

第3 医療部門

1 リハビリテーション病院

(1) 概要

リハビリテーション病院として、平成6年3月1日にオープンして以来、増大するリハビリテーション医療の需要への対応に努力を続けている。具体的には、脳血管障害や脊髄損傷、脳神経内科疾患（難病）等の重度の障害者に対して高度のリハビリテーション医療を行うとともに、整形外科治療（機能改善手術）を行っている。病床数は120床である。

(2) 診療科目

脳神経内科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、神経・精神科、泌尿器科、循環器内科、麻酔科、歯科

(3) 政策的医療への取組

埼玉県総合リハビリテーションセンターが提供する医療に関し、県立の医療機関である立場から、今後さらに政策的医療に重点を置いた医療の提供に努めていくことが求められている。このため、当センター内における政策的医療推進のための体制の強化と対外的な重点取組分野の明確化を図ることとした。具体的には、3つの重点取組政策的医療分野を定めるとともに、令和4年6月に当該分野ごと多職種職員で構成される「神経難病センター」、「若年者リハビリセンター」、「障害者医療センター」を設置した（下表参照）。

各センターの構成員が定期的に集合しての具体的な取組の検討、実施に向けた手順等の整備、対外的なPR活動などを多職種連携の下で活発に行っている。

センター名	構成員の職種	主な対象患者
神経難病センター	医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症などの神経難病患者
若年者リハビリセンター	医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師	就労・就学世代の脳卒中後遺症患者
障害者医療センター	医師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師	加齢に伴い身体の痙縮、拘縮、疼痛が生じている障害者の患者

(4) 令和5年度事業実績

ア 入院

令和5年度の入院者の総数は医科入院626名、歯科入院16名、合計642名である。病床の利用状況は年間平均で1日当たり84.9名、病床利用率70.7%、平均在院日数48.9日となっている。

疾患別では、脳神経内科疾患が319名(51.0%)と最も多く、変形性骨関節症101名(16.1%)脳血管障害98名(15.6%)の順になっている。

令和5年度の医科の退院患者数は613名で、退院先は、家庭復帰が534名(87.1%)と最も多く、機能回復訓練や職能訓練のために当センター内の障害者支援施設に入所した者は14名であった。

(ア) 月別入院数及び退院数

(人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院数	医科	43	52	52	64	46	57	55	55	42	54	52	54	626
	歯科	2	2	1	2	2	2	1	0	2	1	0	1	16
退院数	医科	41	49	52	53	55	51	52	53	60	43	43	61	613
	歯科	2	2	1	2	2	2	1	0	2	1	0	1	16
入院延べ人数		2,342	2,380	2,366	2,629	2,738	2,551	2,687	2,695	2,689	2,510	2,634	2,837	31,058
1日平均入院者数		78.1	76.8	78.9	84.8	88.3	85.0	86.7	89.8	86.7	81.0	90.8	91.5	84.9
病床利用率(%)		65.1	64.0	65.7	70.7	73.6	70.9	72.2	74.9	72.3	67.5	75.7	76.3	70.7

(イ) 障害原因別入院患者数(医科)

	(人)	(%)
脳神経内科疾患	319	51.0
変形性骨関節症	101	16.1
脳血管障害	98	15.6
骨折	26	4.1
脊髄損傷	22	3.5
骨関節疾患	14	2.2
頭部外傷	13	2.1
切断	6	1.0
脊髄椎疾患	6	1.0
COVID-19	6	1.0
その他	15	2.4
計	626	100.0

(ウ) 入院目的別患者数(医科)

	(人)	(%)
訓練	550	87.9
手術	36	5.7
検査	11	1.8
その他	29	4.6
計	626	100.0

(エ) 退院時の障害等級(医科)

	(人)	(%)
1級	37	6.0
2級	54	8.8
3級	35	5.7
4級	15	2.5
5級	7	1.2
6級	5	0.8
無し・申請中	460	75.0
計	613	100.0

(オ) 入院期間別退院患者数(医科)

	(人)	(%)
14日以内	53	8.6
15～31日	191	31.2
32～62日	223	36.4
63～93日	65	10.6
94～124日	29	4.7
125日以上	52	8.5
計	613	100.0

(カ) 年齢別入院患者数 (医科)

(人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳～	合計	平均年齢(歳)
男	8	6	10	31	78	26	134	293	61.0
女	2	5	5	20	48	37	216	333	67.3
計	10	11	15	51	126	63	350	626	64.4

(キ) 退院先状況 (医科)

(人)

	家庭復帰	障害者支援施設	病院	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム等	その他	計
男	237	14	15	10	1	4	5	286
女	297	0	11	5	4	9	1	327
計	534	14	26	15	5	13	6	613
構成比(%)	87.1	2.3	4.2	2.5	0.8	2.1	1.0	100.0

*障害者支援施設の人数は、病棟から施設に入所した人数と施設入所者が病棟に入院し施設に戻った人数の合計である。

イ 外来診療

外来では、主に脳血管障害、脊髄損傷、脳神経内科疾患等の患者が診察を受けている。診察に当たっては、原則、他医療機関等の紹介による予約制をとっている。

令和5年度中の外来診療日数は243日、外来延患者数16,637名(初診2,247名、再診14,390名)、1日平均68.5名となっている。

(ア) 診療科目別受診者数

(人)

診療科名	受診者数 合計	左記のうち 初診者数
脳神経内科	3,356	279
整形外科	1,913	240
リハビリテーション科	3,955	60
脳神経外科	377	14
神経・精神科	1,273	90
泌尿器科	248	2
循環器内科	814	22
麻酔科	0	0
歯科	4,701	1,540
計	16,637	2,247

ウ 手術

(ア) 月別手術件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医科	4	3	4	3	1	4	5	4	3	2	3	4	40
歯科	2	2	1	2	2	2	1	0	2	1	0	1	16
合計	6	5	5	5	3	6	6	4	5	3	3	5	56

(イ) 医科種類別手術件数

(件)

手術種類	脊椎	人工関節置換術		人工骨頭置換術	関節鏡			観血的整復固定術	抜釘	腱切離・縫合・延長移行・筋・神経剥	切断・断端形成術	指趾手術	腫瘍摘出	パクロフェン持続注入ポンプ埋込術	パクロフェン持続注入ポンプ交換術	脊髄刺激療法装置埋込術	脊髄刺激療法装置交換術	脳深部刺激療法装置埋込術	脳深部刺激療法装置交換術	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	経皮的胃瘻造設術	胃瘻チューブ・経胃瘻空腸チューブ交換	褥瘡・その他	合計
		股関節	膝関節		膝関節	肩・肘関節	足関節																	
件数	0	7	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	1	1	2	5	12	1	1	2	1	40
%	0	17.5	0	0	0	0	0	0	0	12.5	0	0	0	5.0	2.5	2.5	5.0	12.5	30.0	2.5	2.5	5.0	2.5	100

(ウ) 麻酔件数

(件)

麻酔種類	全身麻酔	全身麻酔・局所麻酔	局所麻酔	局所麻酔＋静脈麻酔	大腿神経ブロック	その他	合計
件数	49	3	0	4	0	0	56

(5) 令和6年度事業計画

新たな経営改善計画の策定を踏まえ、病床利用率をはじめとした診療実績の一層の向上に努めるとともに、医療の質及び患者サービスの向上を目指す。